

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	高津区第3グループ(末長・子母口・梶ヶ谷)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 末長子ども文化センター ①年間延べ利用者数	44,633人	45,667人	②年間延べ利用団体数	422団体	407団体		
2 末長小学校わくわくプラザ ①登録者数	562人	548人	②年間延べ利用者数	29,811人	29,284人			
3 新作小学校わくわくプラザ ①登録者数	252人	269人	②年間延べ利用者数	13,076人	13,413人			
3 梶ヶ谷小学校わくわくプラザ ①登録者数	376人	371人	②年間延べ利用者数	23,018人	25,492人			
1 子母口子ども文化センター ①年間延べ利用者数	35,730人	33,970人	②年間延べ利用団体数	454団体	422団体			
2 久末小学校わくわくプラザ ①登録者数	363人	390人	②年間延べ利用者数	23,719人	24,298人			
3 子母口小学校わくわくプラザ ①登録者数	394人	378人	②年間延べ利用者数	21,483人	23,354人			
1 梶ヶ谷子ども文化センター ①年間延べ利用者数	27,733人	26,350人	②年間延べ利用団体数	307団体	319団体			
2 梶ヶ谷小学校わくわくプラザ ①登録者数	381人	399人	②年間延べ利用者数	21,536人	22,750人			
3 西梶ヶ谷小学校わくわくプラザ ①登録者数	306人	316人	②年間延べ利用者数	19,551人	22,988人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 171,457,587 2 支出 人件費 143,922,836 管理費 9,772,061 事務経費 9,047,209 その他経費 10,985,390 合計 173,727,496 3 差引 -2,269,909							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書及び事業計画に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・また、子どもたちの安全確保に努めたほか、子どもたちのボランティア精神を育みながら多世代交流が行われている。 ・特に、末長子ども文化センターでは、合築施設である障がい者施設「川崎市くさぶえの家」と連携し、「施設合同まつり」を実施しており、町会など地域ボランティア約80名の協力により、幅広い世代間交流を行うとともに、中高生との積極的なコミュニケーションを図ることで、中高生の利用増につながった。 ・さらに、地域の小さな図書室を目指して、その整備にも力を入れており、本の内容が書かれた新聞記事の切り抜きを提示するなどの工夫したことで、貸出件数が1.25倍に増えた。 ・子母口子ども文化センターでは、老人いこの家との合築である特性を生活かし、多世代交流を促進するとともに、中学生が講師となり、小学生にミサンガ作りを教えるなど、行事後の異年齢に交流が深まった。 ・また、各わくわくプラザにおいても、遊びや行事などにも工夫を凝らしながら児童健全育成を図った。 ・これらの取組を通じて、中高生の利用が約600人増加した。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用ニーズについては、意見箱や意見交換ノート・アンケート・子ども運営会議などから意見を聴取しており、利用者からの要望に応じて、時間を決めて、飲食できる場所を確保するなど、業務の改善への柔軟な取組が見られ、利用者からの感謝の声もあがっていた。 ・特別な配慮を要する利用者への対応については、新作小学校わくわくプラザでは、ヒルズ末長と連携し、小学校や中学校への引継ぎ、申し送りを行っており、巡回相談に加え、特別支援教育士の資格保持者による研修も実施している。 ・また、これらの専門的なアドバイスや助言をもとに、館の運営を見直し、支援児童の過ごしやすい環境づくりを行った。 ・施設・事業の広報については、末長こども文化センターにおいて、玄関にイーゼルを置き中学生による行事案内を始め、好評を得ているとともに、障がい者施設との合築であることから、地域住民に対し、合同事業報告会を行っており、地域の方々が積極的に運営に関わる機会が増えている。 ・わくわくプラザの保護者懇談会に限らず、日頃から意見箱を設置するなど利用者からの要望を、事業運営に反映させる取組が行われている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
		職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。			
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書、事業計画に基づき、適正な配置がなされているとともに、特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置がなされている。 ・研修体制については、区研修として、「保護者とのよりよい関係づくり(クレーム対応)」「中高生の居場所作り」「チーフサポーター情報交換」の3種類が実施されたほか、グループ研修として、グループ内での持ち回りで、効果的かつ画的な研修が実施されていた。 ・また、各施設でも研修が実施されており、末長こども文化センターでは、高津区保健福祉センターの職員を講師に、現場で役立つ衛生管理・感染症拡大防止の対応に関する研修が行われた。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、利用者が安心して利用できるよう、点検に関する事項を定めたチェックリストに基づき、スタッフが定期的に点検を行い、必要に応じた維持・補修が行われ、安全確保が図られている。 ・利用者の安全確保については、全職員の普通救命講習の受講、AEDの点検、わくわくプラザにおける登録時のアンケート提出によるアレルギー情報の把握など、様々な安全管理対策を行っている。 ・防犯対策については、運営法人で作成した「不審者対応マニュアル」に基づき日頃の予防、非常時の対応に努めた他、末長こども文化センターでは、子どもたちが、町内会長やボランティアと一緒に地域を歩いて地域安全マップを作成したり、合築施設である川崎市くさぶえの家や地域子育て支援センターと合同で避難訓練を行っている。 ・さらに、子母口こども文化センターでは、合築施設の老人いこいの家と合同で年2回避難訓練を行った。 					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

「安心して楽しく過ごせる居場所の提供」・「地域と連携し地域に即した事業展開」という観点からみれば、体験学習等を通じて子どもたちのボランティア精神を育みながら幅広い世代間交流ができていほか、職員が利用者に対して積極的にコミュニケーションを図ることで利用者との距離感が縮まり、より直接的なニーズを把握できている。

また、イベント等への参加者から「楽しかった」、「また参加したい」という声が多く見られているのは、指定管理者制度導入以前から委託事業者として培われている経験があるだけでなく、そうした心がけが事業運営における質の向上につながっているものと考えられる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

日常的な施設内外の点検や安全確認が行われているが、慣れることが事故などを招く原因となるような油断に繋がらないよう、引き続き、地域の子どもたちに親しまれる快適な居場所となるような運営に努めること。